

ソフト開発

進ちよく、画面で確認

奈良先端大など 無料の支援ソフト

【京阪奈】奈良先端科

学技術大学院大学の鳥居

宏次特任教授と松本健一

教授らのグループは二十

九日、ソフト開発の進ち

よく状況をグラフで表示

し、開発計画の見直しや

納期管理などに役立てら

れる支援ソフトを開発し

たと発表した。主にソフ

ト開発を外部企業から請

け負う業者向けの利用を

見込む。ホームページを

通じて公開しており、誰

でも無料で入手できる。

まず開発した支援ソフ

トを、ホームページから

パソコンにダウンロード

する。このパソコンで外

部から請け負ったソフト

の開発を進めると、開発

を終えた部分のデータ容

量や、バグの残量などの

情報を支援ソフトが入

手。パソコン画面上でグ

ラフ表示し、開発状況を

確認できる。

これまで、こうしたソ

フト開発業者が開発の進

ちよく状況を把握する場

合は、開発要員の自己申

告などに頼る部分が大き

かったという。今回の支

援ソフトを使えば、一目

で進ちよく状況を確認で

きるため、ソフト開発計

画の厳密な管理に役立て

ることができるとい

文部科学省のプロジェクト

の一環で、大阪大学

や日立製作所をはじめと

する企業四社などと共同

で開発した。開発したソ

フトは無償OS「リナッ

クス」のようなオープン

ソースとして、同プロジ

エクトのホームページ

(<http://www.empiri>

<http://www.empiri>

<http://www.empiri>

ロードできる。